

インフラDXモデル工事 現場見学会のご案内

日本建設業連合会の協力を得て実施中の「建設DX技術活用モデル工事(インフラDXモデル工事)」において、現場見学会を開催します。

当工事で使用する以下の最新の2技術を、各社の担当者が現場で実演!

- ① AI配筋検査システム(自動配筋検査)
- ② 点群データを活用した構造物の施工管理(3D測量)

活用を検討されている方にとっては、大変貴重な機会となりますので是非、ご参加をおねがいします。

~ あわせて、四国技術事務所からの出展 (実演・体験) ~

VRゴーグル・LiDAR・空間再現ディスプレイ・3Dプリンタ・フライトシミュレータ-

〇開催場所: 高知県安芸市赤野

令和5-6年度 南国安芸道路赤野高架橋下部P26, P28工事

※会場は、赤野高架橋下部P22-P23周辺

o開催日時: 令和6年3月1日(金) 13:30~15:30

(雨天の場合は中止。中止の場合は事前に連絡します。)

○対象者:四国内の建設会社(各県建設業協会、四国建設青年会議会員企業)

※駐車場は準備しておりますが、極力乗り合わせでの、ご来場にご協力をお願いします。

○問 合 せ:四国地方整備局 企画部 技術管理課 課長補佐 石川

技術検査官 蓮井

TFI: 087-811-8311

【位置図】

【参加申し込み】



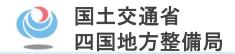
【受注者】ジョウトク建設株式会社

スマホで、下記の二次元コードを読み 込み、入力フォームに所属、氏名を記 入してください。



申し込み期限:2月20日(火)





【インフラDXモデル工事とは】

日建連「(一社)日本建設業連合会」の協力を得て、地域の建設業が使用可能な最新技術を活用する 一般土木Cクラスの工事

《背景》

- ○四国地方は高齢化が全国平均より10年早いと言われており、建設業の担い手の中長期的な 育成・確保は喫緊の課題。
- ○建設業就業者の高齢化や減少に対応するためには、新技術の導入による建設産業の生産性向 上と若手技術者の確保や育成が重要。
- ○若手技術者を確保するためには、建設業界がインテリジェンスでかつ安全にも十分配慮した 業界であると認識頂くことが必要。



- ○**地域の建設企業**が「使ってみたい」と思う最新技術を取り入れる。
- ○工事施工の**安全向上**やインテリジェンスな最新技術を取り入れる。

【建設DX事例集より、今回使用する2技術を選択】

建設 DX事 例集番 号	会社名	事例名	建設 DX事 例集 ページ
29	鹿島建設 (株)	AI 配筋検査システム	57
71	(株) 不動テトラ	点群データを活用した構造物の施工管理	141



《建設DX事例集》

○小規模工事へDX技術の取組み推進に向け、会員企業が保有する技術やノウハウを広く全国に普及させ、活用するために作成。(掲載91技術)



※建設DX事例集 日建連HP 二次元コード

